

ヒロシマへ 2

厚母至眞子

2025年8月初旬

日帰りバスで広島へ

平和を願う言葉が次々に続く

三カ国語目に日本語が聞こえた

一瞬にして霧が晴れた

分る言葉、分らない言葉

言葉が通じないことの苛立たしさ

バベルの塔の下で混乱する人々

ここにもあるかなしみ

英語、韓国語、そして日本語

せめてトリリンガルであつたら

今日の話は心にもっと響いただろう

ノーマア ヒロシマ

平和をと願う心は同じでも

それぞれの形は違う

そんなヒロシマに集まった人々

アメリカから大勢の人々

世界のどこかでは今も戦争中

この日本では

戦後生まれが次々に80歳を迎えるなか

ワタシはこの夏、76歳になる

この世での定命が近づいている

今も生き方を問われ続ける世代